

素晴らしき哉、人生！（It's a Wonderful Life）

観賞日 2024年12月23日 上映時間 130分

【概要】

制作 1946年 アメリカ

原作 フィリップ・ヴァン・ドレン・スターン

監督 フランク・キャブラ

音楽 ディミトリ・ティオムキン

出演 ジェイムズ・ステュアート（ジョージ・ベイリー）、ドナ・リード（メアリー・ハッチ）

ライオネル・バリモア（ヘンリー・ポッター）、ヘンリー・トラヴァース（クラレンス）

トーマス・ミッチェル（ピリー・ベイリー）



【あらすじ】

アメリカの田舎町に住む、ジョージ・ベイリーは両親と弟の4人暮らし。家業は住宅金融会社の経営で、一家は地元住民から愛されてきた。しかし、この町を支配しているのは強欲な高利貸しのヘンリー・ポッターで、ポッターはことあるごとにベイリーを目の敵にしてきた。ジョージは子供の頃から世界旅行を夢見てきたが、父親の突然の死亡により夢をあきらめ家業を継ぐ決意をする。やがてジョージは幼馴染みのメアリーと結婚、4人の子供に恵まれる。大恐慌後の不況で取り付け騒ぎが頻発するが、メアリーの機転でそれも乗り切る。戦争の時代を迎え、弟のハリーが出征、名誉勲章を受ける。ある日、叔父のピリーが銀行に入金する8000ドルを紛失。窮地に立たされたジョージは家族に当たり散らしポッターに救いを求める。人生に絶望したジョージは自殺を試みるが天使クラレンスに助けられて思わず、この世に生まれなかったらばとつぶやく。するとクラレンスはジョージにその世界を見せるが、ジョージはたまたま現実世界に戻りたいと話す。現実世界に戻り、絶体絶命のジョージを救ったものは・・・。

私心を捨て皆のために頑張るジョージの後ろ姿に古き良き時代のアメリカを重ね合わせるキャブラ・ワールドの集大成。ハートウォーミングなクリスマス映画の定番中の定番。

【解説】

■ポイント

●フランク・キャブラ（1897年～1991年）

- ・イタリア、シチリア島の出身。6歳でロサンゼルスに移住。苦学して大学を卒業後、陸軍に従軍するがスペイン風邪で除隊。
- ・その後、映画の世界に入り1934年公開の「或る夜の出来事」でアカデミー賞主要部門を総なめにする。大恐慌後の暗黒の1930年代に代表作を連発。アカデミー賞監督賞を3回受賞（「或る夜の出来事」「オペラハット」「我が家の楽園」）。ウィリアム・ワイラーと並ぶアメリカ映画を代表する監督



●評価（AFIアメリカ映画協会）

感動の映画ベスト100：第1位

アメリカ映画ベスト100：11位

■見どころ

●全編、天使の視点から語られている。

●キャブラ映画の魅力全開

落ち込んだ時に元気をもらえる映画。人生そんなに悪くない。

F・キャブラ、J・スチュワート、D・リード古き良き時代のアメリカの良心を象徴